

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	小中学校校舎等改修事業			事業番号	10-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課	熊澤 信一	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	5	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備	
予算事業名	小学校校舎等改修事業費 中学校校舎等改修事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務	(選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	～	終了年度	-	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市第2期教育振興基本計画 伊勢原市小中学校施設保全計画			計画期間	平成30年度から令和4年度 平成25年度から令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	学校施設の老朽化への対応とともに、生活様式の変化や授業形態の多様化に対応した施設整備が求められています。特にトイレについては、災害時に地域住民の避難所になるため、誰もが快適に利用できるよう洋式化への改修が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	トイレの洋式化等をはじめとする小中学校の設備等の更新・改善のほか、各小中学校が抱える個別課題の解消に取り組むとともに、夏の教室の暑さ対策として、教室へのエアコン設置の検討を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	児童生徒をはじめとする学校を使用する全ての人				
事業内容 (手段、手法など)	小中学校校舎トイレのリニューアルやエアコン設置の検討を進めるとともに、学校で抱える個別課題の解消を図ります。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	トイレ全面リニューアル(改修工事)	—	比々多小2期校舎東棟 成瀬小3期校舎 トイレ改修	高部屋小1期校舎 トイレ改修	
	トイレ全面リニューアル(設計)	比々多小2期校舎東棟 成瀬小3期校舎 トイレ改修設計	高部屋小1期校舎 トイレ改修設計	大田小2期校舎 トイレ改修設計	
目 標	【指標名】	年度			
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	トイレのリニューアル実施数	4箇所 (平成29年度)	4箇所	6箇所	7箇所



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	翌年度以降の工事実施に向け、伊勢原小学校2期校舎・体育館・屋外、緑台小学校校舎・体育館・屋外(プール)、竹園小学校西棟、伊勢原中学校2期校舎・体育館・屋外、中沢中学校東棟・中央棟・体育館のトイレ設計業務を実施します。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施		<input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>		文部科学省
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>		<b>年度</b>		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	トイレ全面リニューアル(改修工事)		—	比々多小学校2期校舎東棟・体育館、成瀬小学校3期校舎・体育館	
	トイレ全面リニューアル(設計)		比々多小学校2期校舎東棟・体育館、成瀬小学校3期校舎・体育館トイレ改修設計の実施	大山小学校校舎・体育館、高部屋小学校1期校舎・体育館、大田小学校2期校舎・体育館、成瀬小学校1期校舎、山王中学校1期校舎・体育館	伊勢原小学校2期校舎・体育館、緑台小学校校舎・体育館、竹園小学校西棟、伊勢原中学校2期校舎・体育館、中沢中学校東棟・体育館
エアコン設置			エアコン設置設計及び工事(小学校10校・中学校4校)	—	
<b>実施した取組の内容</b>	小学校3校、中学校2校のトイレ改修工事設計を実施しました。				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>		<b>年度</b>		
	<b>【現状値】</b>		平成30年度	令和元年度	令和2年度
トイレのリニューアル実施数		4箇所 (平成29年度)	4箇所	6箇所	6箇所

	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計(a)		5,913	千円	1,733,399	千円	16,478	千円			16,478	千円		
<b>内訳</b>	国県支出金 ①		0	千円	230,630	千円	0	千円			0	千円		
	地方債 ②		2,700	千円	1,390,500	千円	0	千円			0	千円		
	その他特財 ③		0	千円	0	千円	0	千円			0	千円		
	一般財源 (a)-①-②-③		3,213	千円	112,269	千円	16,478	千円			16,478	千円		
<b>国県支出金の内容</b>														
<b>コスト</b>	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		前回の改定時期									
		その他												
<b>人件費</b>	正規職員	0.29	人	2,468	千円	5	人	43,500	千円	0.53	人	4,558	千円	
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計(b)	0.29	人	2,468	千円	5	人	43,500	千円	0.53	人	4,558	千円	
トータルコスト (a)+(b)				8,381	千円			1,776,899	千円			21,036	千円	
<b>単位当たりコスト</b>	対象数	定義	改修設計数		単位	改修設計数		単位	改修設計数		単位			
		対象数	2	箇所	35	箇所	5	箇所						
	総事業費 /対象数	4,190,500	円	50,768,543	円	4,207,200	円							

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新型コロナウイルスの感染拡大により、夏期休業期間が短縮され、必要な工事期間が確保出来なかったことから、トイレ改修工事を見送りましたが、令和3年度に1校実施することとしました。また、トイレ改修設計については、小学校3校、中学校2校の計5校を実施しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	全国の公立小中学校の洋式化率は57.0%となっており、他都市と同水準で実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	校舎及び体育館等のトイレのリニューアル及び洋式化を進めることにより、児童生徒の学習環境の改善とともに、避難施設としての機能の充実を図ることができるため、本事業は有効な取組であると考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	トイレを含む校舎の老朽化が進行していることから、施設の改修履歴や今後の使用年数に応じた改修内容とするなど、効率的にトイレの環境改善を図る手法の検討が必要です。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	市内小中学校施設の老朽化が進む中、限られた財源を有効に活用し、トイレ等の環境改善を図るため、過去の改修履歴や施設の使用(見込)年数等を考慮しつつ、これまでの全面リニューアルに加え、特に老朽化が進む箇所の部分的な改修を実施するなど、さらなる費用対効果の向上に取り組む必要があります。
令和3年度の取組方針	国の令和2年度補正予算を活用し、令和2年度に工事を見送ったトイレ改修工事のうち、大田小学校2期校舎・体育館の改修工事を実施します。また、各校のトイレの劣化状況を踏まえ、部分的な修繕等を実施し、環境改善を図ります。
所管部長による総評	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していたトイレ改修工事を見送らざるを得ませんでした。こうした中、国庫補助事業の柔軟な対応を働きかけるなど財源の確保を図り、令和3年度に国の補正予算の活用が可能になりました。引き続き、トイレの全面リニューアル工事を進めるとともに、部分的な改修や修繕を進め、学校施設の環境改善を図る取組を進めます。